

(1) NO. 34 平成17年 6・7月号 こもれび

こもれび・komorebi・木もれ日

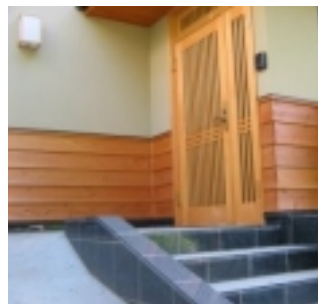
総合建設
株式会社 日向建設 ひゅうがけいせつ
〒247-0061 神奈川県鎌倉市 1-10-4
http://www.hyuga.biz/ どこまでが夢ですか
TEL 0467(47)5454 FAX 0467(44)0303



『甦る家』(最終回) 昔ながらの趣のある家、大規模改装工事 ～鎌倉市極楽寺～

自然の中に溶け込んだようなたたずまいを見せていた古い家。昔ながらの趣を残しつつ、『ぬくもりを感じる快適な家』に生まれかわりました。介護を必要とするおばあ様との同居を考えた改装になっています。どのように再生されたか、ご紹介したいと思います。改装前と完成を比べてみてください。

玄関廻り…門を入ると、御影石の階段があり、ヒバで作られた玄関扉が見えます。昔ながらの腰板は杉板を使いました。仕上げは、もちろん柿渋です。外壁は、じゅらく調の左官仕上げです。



御影石の階段の隣には車椅子用のｽｰﾌﾞも作製



古い井戸もそのまま残しました

屋根…瓦で重かった屋根は、カルバリウム鋼板の平葺に葺き替えられ、耐震性も向上しました。



中庭から見た廊下と和室



曲がり・ゆがみを直します



普段見る事の出来ない柱だけになってしまった室内

和室…矩折りに作られた廊下は、そのまま生かしました。以前は畳敷きだった和室は、杉の無垢材のフローリングに。杉板は、床の間・障子の部屋にも違和感が無く使用範囲の広い部屋になりました。じゅらくの壁も塗り直され、きれいに仕上がりました。

天井…格子文様の美しい格天井に生まれ変わり、落ち着いた雰囲気をかもしだしています。



化粧直しをして住人を待つだけになりました

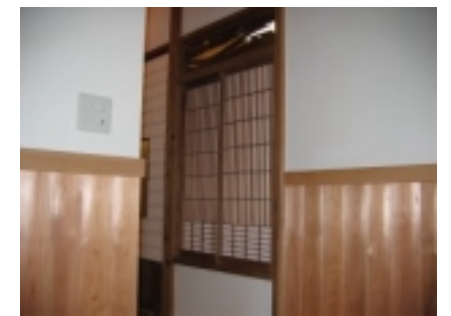


(2) こもれび

廊下…木小舞天井も新しくなり、もともと使われていた4間(7.2m)の丸桁を磨くと、昔の大工さんが取り付けた当時の色合いが戻ってきました。昔の職人さんと声をかけあっているような気分になります。玄関脇の書院風の小窓も汚れを落とし、もとの位置に収められました。漆喰の白い壁と腰板の木目とうまく溶け込み、木のぬくもりが感じられます。



木小舞天井ときれいに磨かれた丸桁



廊下とリビングの仕切りの壁にはめ込まれている書院風小窓

断熱材…完成してしまおうと見えなくなる天井や壁の中。断熱材がきちんと入っています。(隙間があると断熱効果が下がってしまいます)
A…高性能グラスウールで北海道地方でよく使用されているハイRという品物です。
B…壁に入れる断熱材は、ポリエチレンで包んだ物を使用。

※断熱材の性能は、熱抵抗値Rで表します。材料の厚さ100mmの杉・檜…0.86、アルミ…0.000491です。今回使用している断熱材は、A・B共2.6です。



A：天井の断熱材



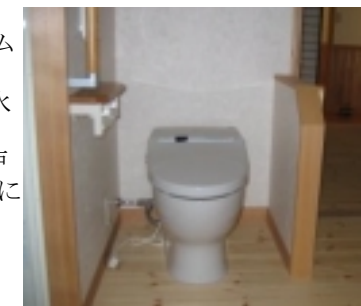
B：壁の断熱材



蓄熱式床暖房…24時間快適暖房仕組の床。耐圧盤の上にパイプを設置した所。この上に蓄熱層のコンクリートを打設します。このパイプの中をお湯が流れ、コンクリートを暖めます。この暖房方法は、空気を攪拌して暖めるのではなく、下から出る輻射熱によって、家中全体(床・柱・壁・天井・家具)を暖め、寒くない空間を作り出します。室温のバリアフリーになるため、お年寄りにやさしい家に生まれ変わりました。



キッチン…タカラのシステムキッチンを採用しました。食器洗い乾燥機付。浄水器もセットされています。左側に置いてある食器戸棚は地震対策として、壁に直付けしてあります。



トイレ…仕切りの無いトイレ。見慣れない形式なので、はじめはビックリするかもしれませんが、介護が必要になり車椅子生活になった時には、介護される人は勿論、介護する人が援助し易いように工夫されています。

職人技の光る家

鎌倉市岩瀬にある旧家の改装工事が始まりました。昭和初期に建てられたこのお宅は、御自分の所有している山から切り出した材木で作った家だそうです。外観を見ても、どっしりとした風格が感じられます。大規模改装工事で、快適で暮らしやすい家につくり替えていきます。日本の木造住宅の良さ(昔の職人さんの気概が残る家)を見るいい機会です。7月半ばに見学会を計画しています。見学希望の方はご連絡下さい。フリーダイヤル 0120-87-5454



編集後記

極楽寺の趣のある家の改装工事が終了しました。半年近くかかった工事で、無事終わりのホッとしています。最初ご主人は、建替えた方がいいのでは?と聞いていたため、改装工事でどこまで家が変わるか半信半疑だったようです。大規模改装工事で、床・壁・天井・屋根まで新しくなります。しかし、残せる物は生かして使います。この家も幼い頃の思い出がある柱は、そのまま残し、内装材も自然素材を使用、設備は最新の使いやすいものを取り入れました。良い所は昔のままに、おしゃれな雰囲気仕上がりになりました。80年ほど前に建てられた家ですが、これから又、80年、90年と